

プルタルコス『倫理論集』目次

河野与一訳『プルターク英雄伝』12所収の「倫理論集」各篇の梗概(203-319頁)より

- 1 児童の教育について。 *De liberis educandis.*(1a-14c) 倫
- 2 少年は如何に詩を聴くべきか。 *De audiendis poetis.*(14d-37b) 倫
- 3 聴くことについて。 *De audiendo.*(37b-48) 倫
- 4 如何に阿諛者と友人とを区別するか。
Quomodo adulator ab amico inter noscatur sive De adulatore et amico.(48e-74e) 似倫
- 5 人は徳性に於ける自分の進歩を意識するか。 *De profectibus in virtute.* (75a-86a)
- 6 如何に敵から利益を受けるか。 *De capienda ex inimicis utilitate.* (86b-92f) 饒 8-30
- 7 友達が多いことについて。 *De amicorum multitudine.*(93a-97b) 倫
- 8 偶然について。 *De fortuna.* (97c-100a)
- 9 徳性と悪性について。 *De virtute et vitio.*(100a-101d)
- 10 アポロローニオスに宛てた慰めの手紙。 *Consolatio ad Apollonium.*(101e-122a) 倫
- 11 養生訓。 *De teuenda sanitate praecepta.*(122b-137e) 似倫
- 12 結婚訓。 *Coniugalia praecepta.*(138a-146a) 愛 97-126 倫
- 13 七賢人の饗宴。 *Septem sapientium convivium.*(146b-164d)
- 14 迷信について。 *De superstitione.*(164e-171e) 倫
- 15 諸王及諸帝警句集。 *Regum et imperatorum apophthegmata.*(172a-208a)
- 16 スパルタ警句集。 *Apophthegmata Laconica.*(208a-242d)
〔スパルタの昔の習俗。 *Instituta Laconica.*(236f-240b, スパルタ女の警句集(240c-242d)〕
- 17 女の徳性(烈女伝)。 *Mulierum virtute.*(242e-263c) 愛 143-215 倫
- 18 ローマに関する諸問題。 *Aetia sive Quaestiones Romanae.*(263d-291c) 倫
- 19 ギリシャに関する諸問題。 *Aetia sive Quaestiones Graecae.*(291d-304f)
- 19b ギリシャ及びローマの対比的史話集。
Parallera Graeca et Romana sive Parallera minora.(305a-316b)
- 20 ローマ人の幸運について。 *De fortuna Romanorum.*(316b-326c)
- 21A アレクサンドロスの幸運又は徳性(実力)について。
De Alexandri Magni fortuna aut virtute.(326d-333c) B(333d-345b)
- 22 アテナイの人々が名声を得るのに戦争によったか知恵によったか。
De Gloria Atheneinsium.(345c-351b)
- 23 イーシスとオーシリスについて。 *De Iside et Osilide.*(351c-384b) イ
- 24 デルフォイのエイについて。 *De E apud Delphos.*(384c-394c)
- 25 今ピューティアが託宣を韻文で授けていないことについて。
De pythiae oraculis.(394d-409d)
- 26 衰えて来た託宣について。 *De defectu oraculorum.*(409e-438d) 倫
- 27 徳性は教えられるか。 *An virtus doceri possit.*(439a-440c)
- 28 倫理的徳性について。 *De virtute moralis.*(440c-452d)
- 29 怒の抑制について。 *De cohibenda ira.*(452d-464d) 似倫
- 30 爽快な気分(イウレミア-)について。 *De tranquillitate animi.*(464e-477f) 似倫

- 31 兄弟愛について。 De fraterno amore.(478a-492d)
- 32 子供に対する愛情について。 De amore prolis.(493a-497e)
- 33 邪悪(奸ア-)は不幸の十分な理由になるか。
An vitiositas ad infelicitatem sufficiat.(498a-500a)
- 34 精神の悩みと身体の悩みといずれが一層悪いか。
Animine et corporis affectiones sint peiores.(500b-502a)
- 35 饒舌について。 De garrulitate.(502b-515a) 饒 32-76, 倫
- 36 余計な世話焼き(ホリヅラガモシネ-)について。 De curiositate.(515b-523b 倫 饒 78-105)
- 37 富の欲望について。 De cupiditate divitiarum.(523c-528b) 倫
- 38 はにかみ(デュルア-)について。 De vitioso pudore.(528c-536d) 倫 饒 108-136
- 39 羨みと憎みについて。 De invidia et odio.(536d-538e)
- 40 人を羨ましがらせないように自分を讃めることについて。
De laude ipsius. (593f-547f) 饒 138-170 倫
- 41 神によってずっと後で罰せられた人々について。
De sera numinis vindicta (548a-568a) 倫
- 42 運命について。 De fato.(568b-574f)
- 43 ソークラテースの精霊について。 De genio Socratis.(575a-598f)
- 44 亡命について。 De exilio.(599a-670f)
- 45 妻に宛てた慰めの手紙。 Consolatio ad uxorem.(608a-612b) 愛 127-142 倫
- 46 饗宴録。 Quaestiones convivales.(612d-748d) 食・倫(部分的)
- 47 恋愛についての対話。 Amatorius.(748e-771e) 愛 7-96
- 48 恋愛小話。 Amatoriae narrationes.(771e-775e)
- 49 哲学者は特に君主と話し合うべきことについて。
Maxime cum principibus viris philosoph esse disserendum.(776a-779c) 倫
- 50 教養のない君主に宛てて。 Ad principem indoctum.(779d-782f)「(783a-797f)
- 51 老人は政治にたずさわるべきか。 An seni res publica gerenda sit. 倫
- 52 政治訓。 Praecepta gerendae rei pubicae.(798a-825f) 倫
- 53 単独政治と民主政治と少数政治について。 De unius in republica
dominatione, populari statu et paucorum imperio.((26a-827c)
- 54 借金してはならないことについて。 De vitando aere alieno.(827d-832a) 倫
- 55 十弁論家列伝。 X oratorum vitae.(823b-852c) 饒 172-186
- 56 アリストファネスとメナンドロスとの比較の概要。
De comparatione Aristophanis et Menadri epitome.(853a-854d)
- 57 ヘーロドトスの悪意について。 De Herodoti malignitate.(854e-874c)
- 58 哲学者の自然学説について 五巻。 De placitis philosophorum.(874d-911c)
- 59 自然学的諸問題。 Aetia sive Quaestiones physicae.(911c-919d)
- 60 月の円面に現われている顔について。 De facio orbe lunae.(920a-945d) 倫
- 61 冷素について。 De primo frigido.(945e-955c) 倫
- 62 水と火とがいずれが一層有用であるか。 Aquane an ignis sit utilior. (955d-958e)
- 63 陸生動物と水生動物といずれが伶俐であるか。 De sollertia animalium. (959a-985c)

- 64 物の言えない動物が理性を用いることについて。 *Bruta animali ratione uti* (985d-992c)
- 65 肉食についての論議第一。 *De esu carniū oration I et II* (993a-999b)
- 66 肉食についての論議第二。 倫
- 67 プラトーン問題。 *Platonis quaestiones.*(999c-1011f)
- 68 『ティーマイオス』に於ける精神の創造について。
De animae procreatione in Timaeo.(1012a-1030c)
 但し 11-20 節は 30 節 a と b との間に移して読む。
- 69 『ティーマイオス』に於ける精神の創造についての概要。
Epitome libri de animae procreatione in Timaeo.(1030d-1032f)
- 70 ストア派の矛盾について。 *De Stoicorum repugnantiis.*(1033a-1057c)
- 71 ストア派は詩人よりも背理な事を説いていること。
Stoicos absurdiora poetis dicere.(1057c-1058d)
- 72 共通概念(コイノイ・インノイ)についてのストア派に対する反対論。
De communibus notitiis adversus Stoicos.(1058e-1086b)
- 73 エピクレーロスによって楽しく生きることはできないこと。
Non posse suaviter vivi secundum Epicurum.(1086c-1107c)
- 74 コーローテースに反対して。 *Adversus Coloten.*(1107d-1127e)
- 75 人に知られず生きると説くのは正しいか。
An recte dictum sit latenter vivendum esse.(1128a-1130c)
- 76 音楽について。 *De musica.*(1131a-1147)

略語表

- 倫 * 『倫理論集の話』(抜粋訳) 河野与一選訳、岩波書店。
- 似 * 『似て非なる友について他三篇』柳沼重剛訳、岩波文庫
- 愛 * 『愛をめぐる対話他三篇』 "
- 饒 * 『饒舌について他五篇』 "
- 食 * 『食卓歡談集』 "
- イ * 『エジプト神イシスとオシリスの伝説について』 "

『モラリア』全 14 巻(予定)、戸塚七郎ほか訳、京都大学学術出版会 西洋古典叢書、(1997 年より刊行中、完結時期未定)